

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

毎日のように猛暑。豪雨のニュースが続く。異常とも思われる気象情報が世界中から伝わってくる。私達の地域も梅雨が明け、お盆

の時期までは猛暑との情報だ。

今日は「な(7)っ(2)ば(8)」の語呂合わせから「菜っ葉の日」。葉物野菜で夏バテを防ごうという日だ。今日の食卓には、強い日差しを浴びて旬を迎えたヒタミン類などの栄養が豊富な野菜を取りたいものだ。

若一王子祭りできぎわう大町市で、長野県・石川県・新潟県・福井県・富山県の予選を勝ち抜いた各県2チームと前年度優勝・準優勝したチームの12チームで第33回実年ソフトボール大会と雨天順延中だった第18回全

日本ハイシニアソフトボール長野県大会の準決勝・決勝戦の熱戦が繰り広げられた。

北信越大会では地元信州ブルースターズが準決勝まで駒を進めハイシニア大会では中村悦夫投手の熱投もあり

## 今日は「菜っ葉の日」 野菜で夏バテ防止を

が多い。裁判の3審制や「三顧の礼」「三人寄れば文殊の知恵」など「3」にまつわる慣用語やことわざは数多い。何事にも我慢が大切だと諭してくれているのだろうか。

大町ソフトクラブが優勝、大町ハイシニアチームも3位となる地元大活躍に更に大町のお祭りを盛り上げた。ソフトボールも3アウトで攻守交替、ストライク3球で三振など「3」が登場する場面

ラムに書いたら地元は8月だと指摘された。だが七夕は神の「天帝」の娘である織り姫と年飼いの彦星が結婚を機に遊びほうけたので、真面目に働くならば年に一度だけ会わせるとの言い伝えがある話

だ。7月・8月・旧暦など一度だけではなく3回も織り姫と彦星が天の川を越えて会えると考えたらどんなに楽しい話になるに違いない。ぜひ多くの人が3回会えるよう願ってみてはどうだろうか。

世界水泳に始まり多くのワールドカップの開催が続く。活字離れに苦戦する新聞も販売部数の確保を図る目的なのか普通紙もスポーツ紙と勘違いするほどスポーツ欄に力を注いでいる。53年前の1970年(昭和45年)に「ニッポン」に閣議決定された「日本」の呼び方。日本語・日本史



28年国スポ県内開催内定。ネット裏では記録・放送業務の研修が進む

など、多くの人が「にほん」と使っているはずだ。だがスポーツ観戦では「ニッポン・チャチャチャ」と誰もが疑わず、大きな声援を送るのはスポーツの良さなのかもしれない。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)